「福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例」への要望書

「ミヤコドリを保護してください」

和白干潟を守る会 代表 山本廣

ミヤコドリは江戸時代より香椎潟や和白干潟に飛来していた記録があります(筑前國産物絵図帳)。1990年代和白干潟はミヤコドリの飛来地として有名で、全国から多くの人がミヤコドリを見に来ていました。

ミヤコドリは福岡県の希少種になっています。ミヤコドリは和白干潟のアサリを食べています。 そのアサリを、昨年夏から秋にかけて業者が取りつくし、大きなアサリがほとんどいなくなりました。 和白干潟の観察会でアサリを掘っても、小さいアサリしか出ませんでした。

ミヤコドリは昨秋9月15日が初認で、11月24日には19羽を確認しましたが、例年のようには和白干潟の和白川河口から唐原川河口一帯にいることが少なかったのです。食べ物のアサリがいなかったことが原因だと思います。

ミヤコドリをこの条例の指定種に指定して

「事業者の責務:事業活動に伴う希少種の生息・生育環境への負荷の低減」に当てはめて、和白干潟のアサリを業者が採取しないように規制して、ミヤコドリを守ってほしいと願っています。